

家族・任意継続・特例退職者向け健康診断(略称:家族健診)

任意継続被保険者・特例退職被保険者および19歳以上の被扶養者であるご家族の健康診断

健康診断について「家族健診は、健保負担(自己負担なし)で受診できます。」

健康診断は、生活習慣病の発症を防ぎ、医療費を削減することを目的にした「特定健康診査(国が定める40歳以上の健診項目、通称メタボ健診)」を含んだものとなっています。生活習慣病の多くは自覚症状がなく進行します。必ず毎年健康状態のチェックをし、ご自身の疾病予防にお役立てください。

対象者

19歳以上の任意継続被保険者・特例退職被保険者および被扶養者。ただし、受診日にIBM健保組合に加入していること。(脱退後に受診した場合は、費用実費を請求します。)

健康診断の受診について

対象となる皆様は、下記のいずれかの方法で受診してください。

受診方法	対象	検査項目	詳細
家族健診(健保負担)	現役社員を除く19歳以上	社員向け 定期健康診断検査項目 + がん検診(*2)	32ページ参照
任意の健診機関で受診の健康診断/人間ドックを受診	19歳以上	特定健診項目(*1)	6・10ページ参照
パート先などで受診(*3)	現役社員を除く19歳以上	特定健診項目(*1)	—
節目のがん総合検診を受診	40、45、50、55、60、65、70歳	特定健診項目(*1)	26~27ページ参照

注1：年齢は2023年3月31日時点年齢

注2：受診日に当健保組合加入者を対象とする。(未加入者の受診費用は返還していただきます。)

注3：受診をキャンセルした場合や、重複して受診された場合は、後日、受診費用実費を請求する場合があります。

*1：特定健診項目 表-1参照

*2：家族健診受診時の健保負担のがん検診 33ページ参照

*3：当健保組合には皆様の「健診結果の保有の義務」が厚生労働省より課せられています。健診結果のコピーと特定健診問診票のご提供にご協力をお願いします(25ページ参照)。ご協力いただける場合は、99ページのがん検診(運用全般)までご連絡ください。

● 特定健診項目 表-1

特定健診項目(必須受診)	
【内科診察】問診・聴打診(医師診察) 【身体測定】身長・体重・腹囲・BMI 【血圧測定】血圧(最高血圧/最低血圧) 【尿検査】尿蛋白、尿糖 【肝機能検査】AST(GOT)、ALT(GPT)、γ-GT(γ-GTP)	【脂質代謝検査】中性脂肪、HDLコレステロール、LDLコレステロール 【糖代謝検査】空腹時血糖、またはヘモグロビンA1c(HbA1c) 【その他】医師の判定(所見・コメント)、医師の氏名

「健康診断」を任意の健診機関で受診する場合

- ・任意の健診機関で健康診断や人間ドック受診をする方は「特定健診項目」(5ページの表-1) が全て含まれている健診コースを受診してください。
- ・受診費用の全額を個人負担にて受診の上、下記の「任意の健診機関で受診の健康診断／人間ドック」の補助金申請をご利用ください。

利用可能対象者

- 19歳以上の被保険者および被扶養者
- ※2023年3月31日時点年齢

対象外

- ・受診当日に当健保組合に加入していない方
- ・社員の定期健康診断を受診した方
- ・家族・任意継続・特例退職者向け健康診断(略称: 家族健診)を受診した方
- ・節目の「がん総合検診」を受診した方

利用可能回数

1人年1回(2022年4月～2023年3月末)

利用方法

- ①健診機関へ、直接ご自身で受診日等を予約の上、受診してください。健康保険証は本人確認のために必要となる場合がありますので、必ず持参してください。受診可能な検査項目は各健診機関で多少異なりますが、「特定健診項目」(5ページの表-1) に準ずるものとします。
- ②受診費用の全額を健診機関の窓口(会計)で支払い、領収書を受診者の宛名で必ず発行してもらってください。補助金申請の際、領収書の原本を添付する必要がありますので大事に保管してください。

健診項目

「特定健診項目」(5ページの表-1) は必須受診です。「特定健診項目」が全て含まれている健康診断を受診してください。
検査項目が不足している場合は補助金申請をお受けできません。

補助金額

上限10,000円／年1回

補助金申請方法

受診日から4週間以内、年度末に受診の場合は2023年4月8日(土)までに必着で当健保組合へ下記書類を揃えてご提出ください。

任意の健診機関で受診の健康診断／
人間ドック補助金申請書

領収書の原本(コピー不可)

健診結果のコピー

特定健診問診票

●補助金申請書の作成について

14ページ参照

●領収書について

14ページ参照

●健診結果のコピーについて

下記部分のコピーをとってください。

- ・「身体測定」「血液検査」「尿検査」など、「特定健診項目」(5ページの表-1) の測定値の記載部分
- ・健診を実施した「医師の氏名」の記載部分
- ・「医師の判定(コメント、所見など)」の記載部分

●特定健診問診票について

25ページの「特定健診問診票」をコピーし24ページの記入例を参照の上、回答を記入してください。

申請締切

Web申請入力締切: 3月31日(金)
申請書送付締切: 4月8日(土) 必着
締切後の到着は申請をお受けできません。

Q&A

Q① 任意の健診機関で健康診断と一緒に骨密度検査を受診しました。領収書はそれぞれ発行してもらっていますが、どのように申請すればよろしいでしょうか？

A 骨密度検査は「骨密度検査補助金申請書」(19ページ)で申請してください。健康診断とは分けて申請をしてください。骨密度検査は、女性40歳以上、男性60歳以上の方が対象です。(※2023年3月31日時点年齢)

Q② 任意の健診機関で健康診断と一緒に大腸がん検診(例:便潜血)を受診しました。領収書が一枚になっていますが、大腸がん検診の費用は補助金申請できますか？

A 大腸がん検診は「がん検診補助金申請書」(17ページ)で申請してください。健康診断とは分けて申請をしてください。検査料金が領収書または料金明細書上で明確になっていることが必要です。

Q③ 任意の健診機関で健康診断を受診しました。健康診断結果が健診機関からまだ送られてきません。先に申請書と領収書を健保組合宛に送付してもよろしいでしょうか？

A 健康診断補助金申請書と領収書のみでは申請は受けできません。必ず、健康診断結果のコピーと特定健診問診票(25ページ)を揃えて当健保組合に送付してください。

Q④ パート先で健康診断を受診しました。健診結果を送りたいのですが、「特定健診項目」(5ページの表-1)で不足している項目があります。不足しているまま送付してもよろしいでしょうか？

A いいえ。不足している健診項目は実施している健診機関で受診していただき、不足項目がないようにお願いします。かかった費用については健康診断で補助金申請が可能です(6ページ参照)。

Q⑤ 任意の健診機関で健康診断のオプションとして、腹部エコーや、腫瘍マーカー検査を受診した場合、その費用は補助金申請できますか？

A いいえ。補助金申請はできません。補助金申請ができる検査については、各種検診補助金(8~10ページ)でご確認ください。